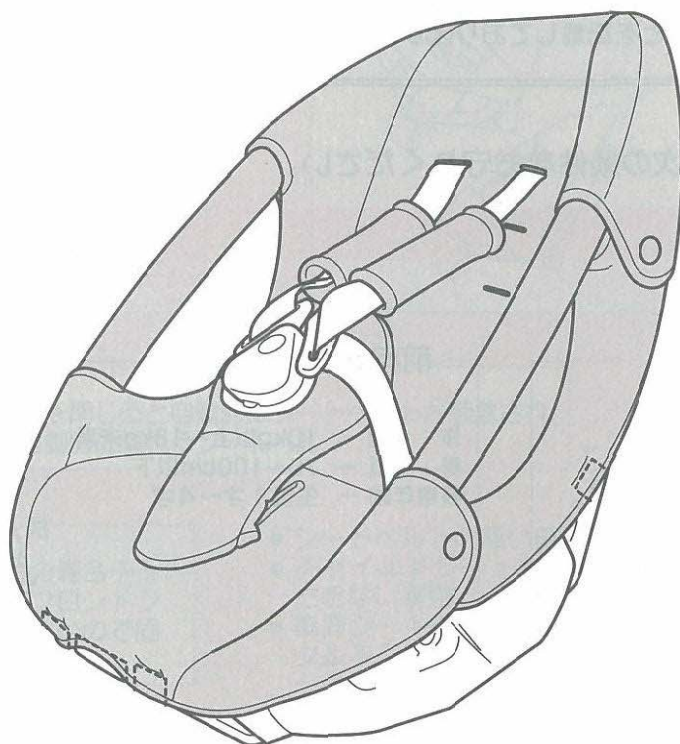


トヨタ純正

チャイルドシート

取扱書

型式 7D5227



このたびはトヨタ純正チャイルドシートを
ご購入いただき、ありがとうございました。



本品は、自動車事故の場合などの際にお子様を衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられたチャイルドシートです。

お子様の安全のためにご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

本書は紛失しないようお車の中に保管してください。

本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせてお渡してください。

1	ご使用にあたって	- 2
2	ご使用上の注意	- 4
3	各部の名称	- 7
4	各部操作の仕方	- 8
5	車両へ取付ける前に	
	お子様の座らせかた	- 9
	肩ベルトの高さ調節	- 9
	肩ベルトの長さ調節	- 10
	肩ベルト調節金具への接続	- 10
	ロッキングクリップの使いかた	- 11
6	車両への取付け	
	後ろ向き取付け	
	3点式シートベルトの場合	- 12
	2点式シートベルトの場合	- 14
	前向き取付け	
	3点式シートベルトの場合	- 16
	2点式シートベルトの場合	- 18
7	チャイルドシートのお手入れ	- 20

1 ご使用にあたって

警告表示について

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。これらは重要です、しっかりお読みください。

- ⚠ **警告** …………… 記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあるもの。
- ⚠ **注意** …………… 記載事項を守らないと、傷害、事故またはチャイルドシートの破損につながるおそれがあるもの。
- 《完了チェック》 …… 安全のため、最後に必ず確認していただきたいことを記載しております。
- 👉 **アドバイス** …… この用品のために守っていただきたいこと、およびより安全、快適にご使用いただくうえで知っておくと便利なことを記載しております。

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

ご使用いただけるお子様

後ろ向き取付け

体 重 - 7kg以上～10kg未満
身 長 - 65～75cm以下
参考年齢 - 生後6ヶ月～12ヶ月
そ の 他 - 首が安定し、ひとり座りのできるお子様



⚠ 警告

危険ですので前向きには絶対に使用しないでください。

前向き取付け

体 重 - 10kg以上～18kg未満
身 長 - 75～100cm以下
参考年齢 - 生後1才～4才



⚠ 警告

- この条件を満たさないお子様にはチャイルドシートを使用しないでください。万一のとき、チャイルドシートの効果が発揮できずケガなどをするおそれがあり危険です。体重7kg未満のお子様にはベビーシート、体重18kg以上で身長100～135cmのお子様にはジュニアシートをご利用ください。

このような座席には使用しないでください。

⚠ 警告

- 車両のシートベルトの種類やシートの形状などにより、確実にチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動してケガなどをするおそれがあり危険です。

- 緊急ロック式巻取り装置付2点式シートベルトの座席



- チャイルドシートの座面の前後が車両シート座面に接しない場合または安定しない座席



- 3点式シートベルトの上下取付け部がともに巻取り装置付の座席



- オートマチックシートベルトの座席

前席に座ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的に外れるシートベルト

- リヤセンター席

後ろ向き取付けの場合チャイルドシートをフロントシートに当てられないので固定できません。

- シートベルトの無い座席
- チャイルドシートが固定できない座席
- 車両シートベルトのバックルを三回転させてもバックルの位置が高い座席

- 進行方向に対し横向き、後ろ向きの座席



- 助手席SRSエアバッグが装備された座席

SRS AIRBAG



助手席SRSエアバッグが装備された座席には絶対に後ろ向きに取付けしないでください。SRSエアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な障害を受けるおそれがあり危険です。

やむをえず、SRSエアバッグが装備された助手席にチャイルドシートを取付ける場合は前向きに取付け、助手席シートの前後位置調整をいちばん後ろの位置にした上で本書「6 車両への取付け」に従って取付けてください。(ただし、お子様が前向き取付けの条件を満たしている場合に限りです。)チャイルドシートは後席に取付けるのがいちばん安全です。

- チャイルドシートを取付けると助手席側の後方視界を妨げる座席



- チャイルドシートを助手席に取付けた場合チャイルドシートが車のドアミラーを隠し後方視界を妨げることがあります。その場合は後席で使用してください。

2 ご使用上の注意

警告

- お子様が車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子様をチャイルドシートに座らせたまま自動車から離れないでください。炎天下などで車内が高温になり、死亡につながるおそれがあり危険です。



- 事故などにより衝撃を受けたチャイルドシートは使用しないでください。万一のとき、十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。で新しいチャイルドシートに取り替えてください。



- チャイルドシートはお子様を乗せないときでも、安全のために車両シートベルトで固定してください。固定しないと衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- 車両シートベルトおよびチャイルドシートのベルトを傷付けないようにご注意ください。万一のとき、ベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。少しでも傷ついた場合は使用しないでください。



- チャイルドシートにお子様を乗せてご使用になるときは、バックルを外さないでください。外すと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

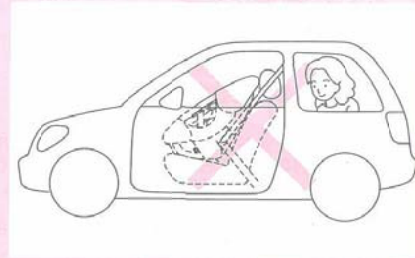


- 走行中およびご使用中はお子様が悪って車両シートベルトやチャイルドシートのバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出すことのないよう、細心の注意をはらってください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



警告

- 後席に乗員を乗せる場合は、2ドアや3ドア車両などの後席にドアが無い車の前席、1ボックスなどの後席乗員の乗降に支障となる座席にはチャイルドシートを取付けないでください。後席乗員の緊急脱出に支障となる場合があり危険です。



- チャイルドシートに日光が当たると金属部や樹脂などが熱くなり、部品に触れるとやけどをするおそれがあり危険です。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。



- 走行中はチャイルドシートの調節や操作をしないでください。走行中に行うと運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- ロッキングクリップ（「3各部の名称」P7を参照）はチャイルドシートをE L R付3点式シートベルト、A L R/E L R付3点式シートベルトで固定する場合にのみ、ご使用ください。上記車両シートベルト以外で使用する場合は必ずロッキングクリップを取り外してから、ご使用ください。（使用しないロッキングクリップは紛失しないよう大切に保管してください。）



- ご使用中車両シートベルトがゆるむなどしてチャイルドシートの固定があまくなる事があります。時々点検し、ゆるくなった場合は再度取付け直してください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないおそれがあり危険です。（確認・取付けは停車し、安全な状態で行ってください。）



- 安全のため、走行中はお子様をチャイルドシートから、降ろさないでください。走行中に行くと、万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



警告

- チャイルドシートを助手席に取付けた場合チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキが干渉する場合があります。もし、干渉する場合は、助手席での使用をやめ後席で使用してください。



- 停車中でもお子様をチャイルドシートの上に立たせないでください。お子様がチャイルドシートより落ちてケガなどをするおそれがあります。



- SRSサイドエアバッグが装備された車両では、前席に前向きに取付けられた場合お子様がフロントドアにもたれかからないようにしてください。SRSサイドエアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な障害を受けるおそれがあります。



- お子様が、チャイルドシートをご使用中は、お子様に固いもの、鋭利なもの等危険なものを絶対に持たせないでください。わずかな衝撃時にも大変危険です。
- 安全のため、改造は絶対にしないでください。
- 車の座席にクッション、座ふとんなどを敷いたままでチャイルドシートを使用しないでください。また、クッション材をチャイルドシートの調整用として使用しないでください。



注意

- このチャイルドシートは自動車専用ですのでお部屋などでは使用しないでください。
- 長時間屋外にチャイルドシートを放置しないでください。チャイルドシートの機能を損ねる原因となります。
- 食べ物、飲物をチャイルドシートにこぼさないように注意してください。故障の原因となります。

車両シートベルトの種類

- シートベルトの種類により取付け方法が異なります。チャイルドシートを正しく安全に使用されるためにお客様の車両のシートベルト種類を確認して頂き、それぞれの種類に合った取付け方法で装着してください。使用できる車両は、販売店にお問い合わせください。

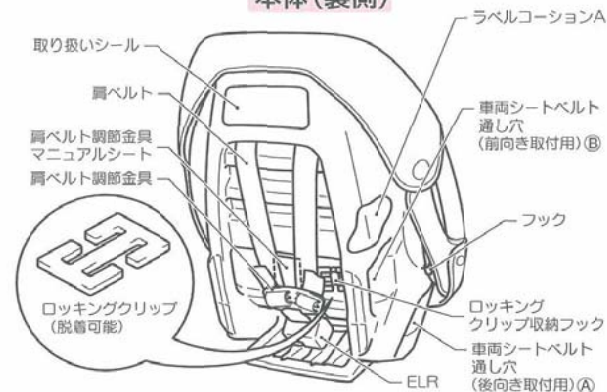
シートベルトの種類	特 徴	取 付 け
ELR(緊急ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	通常時には、ベルトが自由に入出力し、急ブレーキ等の衝撃を感知したときにベルトがその時点でロックされます。	車両シートベルトだけでチャイルドシートはしっかり固定できません。前向き・後ろ向きにチャイルドシート装着時ロッククリップでベルトをしっかり固定してください。(取付けかたは「6車両への取付け」P12、13、16、17を参照)
ALR(自動ロック式ベルト巻取り装置)付2点式シートベルト	ベルトを引き出す途中(任意の位置)で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	チャイルドシートを固定するのに必要な長さのシートベルトを一気に引き出して固定してください。(取付けかたは「6車両への取付け」P14、15、18、19を参照)
ALR/ELR付3点式シートベルト	ELR付3点式シートベルトにチャイルドシート固定用にALR機能を備えたものです。(切替方法等、取扱いは車両の取扱書をお読みください。)	車両シートベルトだけでチャイルドシートはしっかり固定できません。装着の際は上記ELR付3点式シートベルトと同じ方法でロッククリップを使用して固定してください。(取付けかたは「6車両への取付け」P12、13、16、17を参照)
NLR(非ロック式ベルト巻取り装置)付シートベルト	ロック機構が無く、ベルトを全部引き出した状態で体格に合わせてベルトの長さを調節します。	巻取り装置からシートベルトを全部引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。(取付けかたは「6車両への取付け」P12～P19を参照)
マニュアル式シートベルト	巻取り装置が無く、体格に合わせてベルトの長さを調節するシートベルトです。	チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。(取付けかたは「6車両への取付け」P12～P19を参照)

3 各部の名称

本体

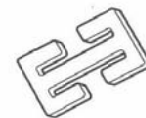


本体(裏側)



※ 本取扱書ではチャイルドシートに使われているシートベルトは「ベルト」と表現しています。

付属品



ロッククリップ



取扱書(本書)

アドバイス

- ロッククリップおよび取扱書をご使用にならないときは、紛失しないように大切に保管してください。

4 各部操作の仕方

△警告

- 各機能の操作は、必ず停車中に行ってください。走行中に行くと運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。

1. バックルの解除・ロック

△警告

- チャイルドシートのバックルを外したままのご使用は絶対におやめください。

解除



- バックルのプレスボタンを強く押し、タングプレートを外します。

ロック



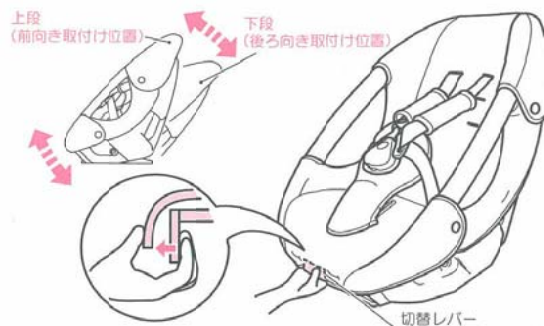
- タングプレートをフロントパッドのバックル穴に差し込みます。差し込んだときに「カチッ」という音を確認し、ロックされていることを手で確かめてください。

2. 切替レバーの使いかた

△警告

- チャイルドシートのリクライニング機構として使用しないでください。急ブレーキや衝突などの緊急時に十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。

- チャイルドシートを車両へ取付ける時、切替レバーで角度を前向き取付けは上段、後ろ向き取付けは下段の位置で調節します。(使用する位置は「6 車両への取付け」P12～19を参照)



- 本体角度調節時は、チャイルドシートの座席部（シートカバー）の下にある切替レバーをつかみ、手前に引いてください。その状態で本体の角度を上げたり、下げたりして調節してください。

5 車両へ取付ける前に

1. お子様の座らせかた

- 車両に取付ける前にお子様を座らせて、各部を調節してください。



- ① バックルを解除します。(「バックルの解除・ロック」P8を参照)

- ② お子様をチャイルドシートに深く腰掛けた状態に座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。このとき、お子様の肩の高さに合わせて肩ベルトを調節してください。(「肩ベルトの高さ調節」P9を参照)

- ③ バックルをロックします。(「バックルの解除・ロック」P8を参照)

《完了チェック》



△警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。

チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため次のことを確認してください。

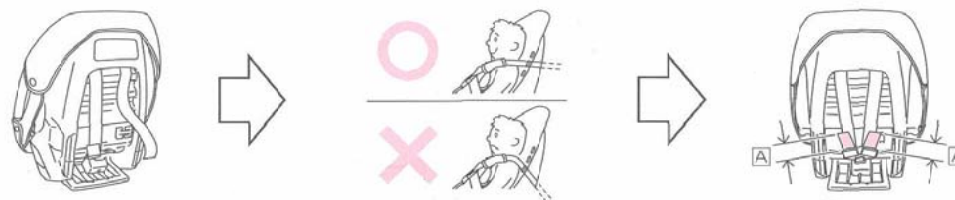
- バックルとタングプレートが確実に結合されていること。
- 肩ベルトがねじれたり、ゆるんでいないこと。
- 肩ベルト調節金具が肩ベルトに正しく付いていること。(肩ベルトを引っ張り、確認してください。)

2. 肩ベルトの高さ調節

△警告

- 肩ベルトがお子様の首や頭、また肩より下のわき等にかかった場合はお子様の体格に合わせて必ず調節してください。万一のときにチャイルドシートが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。

- お子様の成長に合わせて、肩ベルトの位置を調節します。



- ① 肩ベルト調節金具から肩ベルトを外します。

- ② お子様を座らせ、肩の高さに最も近い位置のベルト通し穴にベルトを通します。

- ③ 肩ベルトを肩ベルト調節金具に接続します。(「肩ベルト調節金具への接続」P10を参照)

△警告

- 不適当な位置に通した場合、万一のときにお子様をベルトで十分に保持できなくなるおそれがあり危険です。(「お子様の座らせかた」P9を参照)

△警告

- 肩ベルトの余りの長さ[A]は等しくなるようにしてください。

△警告

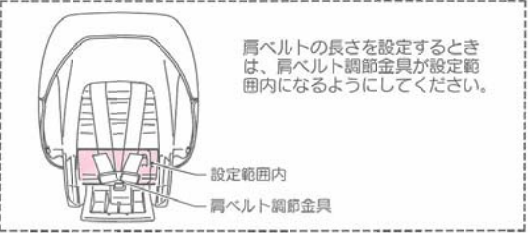
- 必ず肩ベルトを左右同じ高さの穴に通してください。

3. 肩ベルトの長さ調節



お子様の体格にあわせて肩ベルトの長さを調節します。

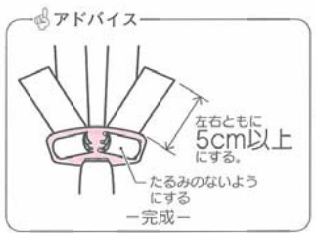
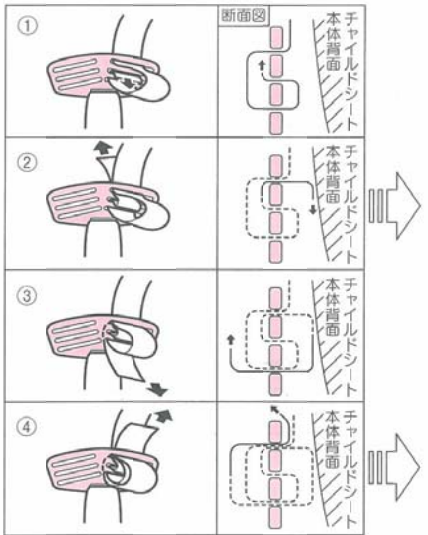
肩ベルトがゆるすぎたり、きつすぎたりしないように注意してください。



肩ベルトの長さを設定するとき、肩ベルト調節金具が設定範囲内になるようにしてください。

4. 肩ベルト調節金具への接続

● 肩ベルトを①→④の順番で接続してください。(左右：同じ方法です)



《完了チェック》



- 警告**
- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため次のことを確認してください。
- 肩ベルトが左右とも確実に肩ベルト調節金具に接続されていること。
 - 肩ベルトの余りが左右とも5cm以上あること。
 - 肩ベルトが肩ベルト調節金具接続部でたるみのないこと。

5. ロッキングクリップの使いかた

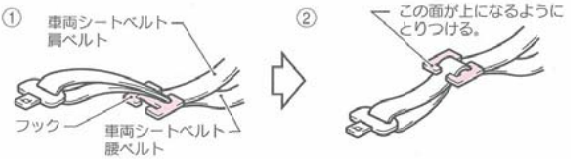
- 警告**
- ロッキングクリップはチャイルドシートを車両シートベルトにより固定する際、確実に取付けるためのものです。ELR付3点式シートベルト、ALR/ELR付3点式シートベルトの場合は、必ずロッキングクリップを使用してください。使用しないと衝突や急ブレーキの際に、チャイルドシートが固定されず、チャイルドシートが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
 - ご使用前に取付け可能な座席であることを確認してください。(「1 ご使用にあたって」P3を参照) 取扱書どおりに取付けできない場合は無理に取付けないでください。万一のとき、チャイルドシートが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

- 注意**
- ロッキングクリップは、チャイルドシートを固定する目的以外では使用しないでください。

- アドバイス**
- ロッキングクリップは絶対になくさないよう、保管してください。(チャイルドシート裏側のロッキングクリップ収納フックに収納できます)

通しかた

● ①→②の順番で通していきます。



● 車両シートベルトの肩ベルトと腰ベルトを合わせ、ロッキングクリップのフックに上から引っ掛けます。

- 警告**
- ロッキングクリップを上図の様に正しく取付けてください。上記以外の方法で取付けると、チャイルドシートが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

6 車両への取付け ー後ろ向き取付け

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

取付けのポイント

- △ 警告**
- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。(「1 ご使用にあたって」P2、3を参照)
 - 助手席SRSエアバッグが装着されている座席には絶対に使用しないでください。エアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - 万一のとき、後席の方がより安全と言われていますので、後席への取付けをおすすめします。

1. 車両シートへの置きかた

本体の状態



- 切替レバーを引いた状態で本体を一番たおした状態にしてください。(「切替レバーの使いかた」P8を参照) 尚、本体を一番たおした状態以外では使用しないでください。



前席へ取付ける場合

- インストルメントパネルに本体が軽く当たるよう、車両前席をスライドさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シートバックに当たるよう、車両前席をリクライニング調整してください。
- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。



後席へ取付ける場合

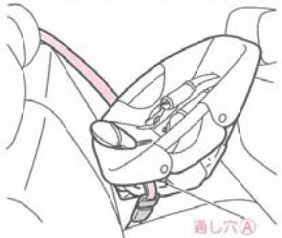
- 車両前席のシートバックに本体が軽く当たるよう、車両前席をスライド、およびリクライニングさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シートバックに当たるようにしてください。
- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。



- △ 警告**
- 運転者が適切な運転姿勢をとれないおそれのある座席には取付けしないでください。(運転席の後方座席や運転席と助手席が一体の車両など)
 - インストルメントパネルや車両のシートバックにチャイルドシートが当てられない場合は取付けしないでください。

2. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両シートベルトを通し穴Aに通してください。
- ② もう一方の通し穴Bにも通し、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- △ 警告**
- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調整してください。(「車両シートベルトのバックル位置が高い場合」P13を参照)

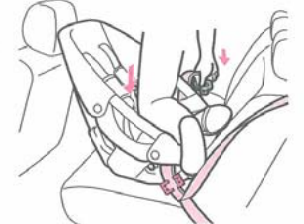
- △ 警告**
- ベルト通し穴には方向性があります。必ずチャイルドシートの向きに合ったベルト通し穴をご使用ください。万一のとき、チャイルドシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

3点式シートベルトの場合

- ③ チャイルドシートを手やひざで上から強く押さえつけた状態で車両シートベルトを引き、ゆるみを取ってください。
- ④ 図の位置で車両シートベルトを強くつかんだまま車両のバックルを一旦外してください。



- ⑤ つかんでいる位置に図のようにロックングクリップを取付けてください。
- ⑥ チャイルドシートを手やひざで上から押さえ付けながらバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- ⑦ ALR/ELR付シートベルトの場合はその機能を作動させた状態でチャイルドシートを固定してください。

《完了チェック》



- △ 警告**
- 下記の項目を満たさない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
 - チャイルドシートの効果をも十分に発揮させるため次のことを確認してください。
 - チャイルドシートの切替レバーにより本体が一番たおれた状態であること。本体が一番たおれた状態以外では使用しないでください。
 - チャイルドシートの上部に前後左右に力をかけ、ゆずってみたとき安定していること。
 - お子様も座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。(「お子様の座らせかた」P9を参照)
 - お客様の車両にALR/ELR付3点式ベルトが付いている場合でもロックングクリップを使用して固定されていること。
 - ロックングクリップを使用せずにALR機能を作動させ、車両シートベルトを巻込ませていくとチャイルドシートが傾き、安定しません。
 - 車両シートベルトがねじれていないこと。(但し、下配の場合は除きます。)

車両シートベルトのバックル位置が高い場合



- チャイルドシートをしっかり固定できない場合は次の要領で調整を行ってください。
- 後席へ取付ける場合
 - 車両のバックルを回転させ位置を低くしてご使用ください。(但し、四回転以上回転させないでください。)



- △ 警告**
- 後席で車両バックルを三回転させても位置が高い場合は使用しないでください。
 - 上記の調整ができない場合、または調整しても安定しない場合には使用しないでください。そのままでご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないおそれがあります。
 - チャイルドシートの取付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないおそれがあります。

6 車両への取付け ー後ろ向き取付け

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

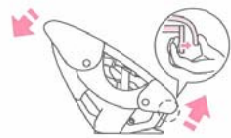
取付けのポイント

▲警告

- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。(「1 ご使用にあたって」P2、3を参照)
- 助手席SRSエアバッグが装着されている座席には絶対に使用しないでください。エアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 万一のとき、後席の方がより安全とされていますので、後席への取付けをおすすめします。

1. 車両シートへの置きかた

本体の状態



- 切替レバーを引いた状態で本体を一番たおした状態にしてください。(「切替レバーの使いかた」P8を参照) 尚、本体を一番たおした状態以外では使用しないでください。

前席へ取付ける場合

- インストルメントパネルに本体が軽く当たるよう、車両前席をスライドさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シートバックに当たるよう、車両前席をリクライニング調整してください。

インストルメントパネル

- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。

後席へ取付ける場合

- 車両前席のシートバックに本体が軽く当たるよう、車両前席をスライド、およびリクライニングさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シートバックに当たるようにしてください。

- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。

▲警告

- 運転者が適切な運転姿勢をとれないおそれのある座席には取付けしないでください。(運転席の後方座席や運転席と助手席が一体の車両など)
- インストルメントパネルや車両のシートバックにチャイルドシートが当てられない場合は取付けしないでください。

2. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両シートベルトを通し穴(A)に通してください。



- ② もう一方の通し穴(A)にも通し、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



▲警告

- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調整してください。(「車両シートベルトのバックル位置が高い場合」P15を参照)

▲警告

- ベルト通し穴には方向性があります。必ずチャイルドシートの向きに合ったベルト通し穴をご使用ください。万一のとき、チャイルドシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

2点式シートベルトの場合

- ③ 車両シートベルトにゆるみがある場合は車両のバックルを一旦外し、短めに調整してください。



- ④ チャイルドシートを手やひざで上から押さえ付けながら、ふたたび車両シートベルトを車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



《完了チェック》



▲警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮されないおそれがあります。

チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため次のことを確認してください。

- チャイルドシートの切替レバーにより本体が一番たおれた状態であること。本体が一番たおれた状態以外では使用しないでください。
- チャイルドシートの上部に前後左右に力をかけ、ゆすってみたとき安定していること。
- お子様が座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。(「お子様の座らせかた」P9を参照)
- 車両シートベルトがねじれていないこと。(但し、下記の場合は除きます。)

車両シートベルトのバックル位置が高い場合



チャイルドシートをしっかり固定できない場合は次の要領で調整を行ってください。

- 後席へ取付ける場合
車両のバックルを回転させて位置を低くしてご使用ください。(但し、四回転以上回転させないでください。)



▲警告

- 後席で車両バックルを三回転させても位置が高い場合は使用しないでください。
- 上記の調整ができない場合、または調整しても安定しない場合には使用しないでください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないおそれがあります。
- チャイルドシートの取付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないおそれがあります。

6 車両への取付け ー前向き取付け

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

取付けのポイント

▲警告

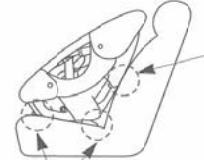
- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。(「1 ご使用にあたって」P 2、3を参照)
- 助手席SRSエアバッグが装着されている座席では、車両のシートを一番後ろの位置へ調節してご使用ください。エアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 万一のとき、後席の方がより安全とされていますので、後席への取付けをおすすめします。

1. 車両シートへの置きかた

本体の状態



- 切替レバーを引いた状態で本体を一番おこした状態にしてください。(「切替レバーの使いかた」P 8を参照) 尚、本体を一番おこした状態以外では使用しないでください。



- 本体の背面が車両シートバックにすき間なく接するようにしてください。(リクライニング付シートの場合は車両シートバックに接するようリクライニング調節してください。)

- チャイルドシートの座面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。

2. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両シートベルトを**通し穴B**に通してください。



- ② もう一方の**通し穴B**にも通し、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



▲警告

- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調節してください。(「車両シートベルトのバックル位置が高い場合」P 17を参照)

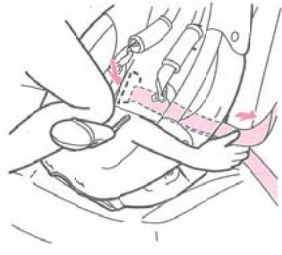
▲警告

- ベルト通し穴には方向性があります。必ずチャイルドシートの向きに合ったベルト通し穴をご使用ください。万一のとき、チャイルドシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

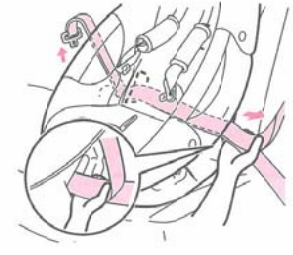


3点式シートベルトの場合

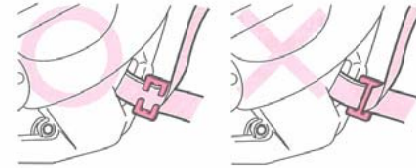
- ③ チャイルドシートを手やひざで上から強く押さえた状態で車両シートベルトを引き、ゆるみを取ってください。



- ④ 図の位置で車両シートベルトを強くつかんだまま車両のバックルを一旦外してください。



- ⑤ つかんでいる位置に図のように**ロックングクリップ**を付けてください。



- ⑥ チャイルドシートを手やひざで上から押さえ付けながらバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- ⑦ ALR/ELR付シートベルトの場合はその機能を作動させた状態でチャイルドシートを固定してください。

《完了チェック》



▲警告

- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため次のことを確認してください。
 - チャイルドシートの切替レバーにより本体を一番おこした状態であること。
 - 本体を一番おこした状態以外では使用しないでください。
 - チャイルドシートの上部に前後左右に力をかけ、ゆずってみたとき安定していること。
 - お子様が座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。(「お子様の座らせかた」P 9を参照)
 - お客様の車両にALR/ELR付3点式ベルトが付いている場合でもロックングクリップを使用して固定されていること。
 - ロックングクリップを使用せずにALR機能を作動させ、車両シートベルトを巻込ませていくとチャイルドシートが傾き、安定しません。
 - 車両シートベルトがねじれていないこと。(但し、下記の場合は除きます。)

車両シートベルトのバックル位置が高い場合



チャイルドシートをしっかり固定できない場合は次の要領で調節を行ってください。

- 前席へ取付ける場合
車両シートを前方へスライドしてください。
- 後席へ取付ける場合
車両のバックルを回転させ位置を低くしてご使用ください。(但し、四回転以上回転させないでください。)

▲警告

- 後席で車両バックルを三回転させても位置が高い場合は使用しないでください。
- 上記の調節ができない場合、または調節しても安定しない場合には使用しないでください。
- そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの取付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。
- 万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないおそれがあり危険です。

6 車両への取付け 一前向き取付け

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

取付けのポイント

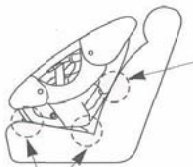
- △警告**
- ご使用前に取付け可能な座席であることおよびお子供が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。
（「1 ご使用にあたって」P2、3を参照）
 - 助手席SRSエアバッグが装着されている座席では、車両のシートを一番後ろの位置へ調節してご使用ください。
エアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - 万一のとき、後席の方がより安全とされていますので、後席への取付けをおすすめします。

1. 車両シートへの置きかた

本体の状態



- 切替レバーを引いた状態で本体を一番おこした状態にしてください。（「切替レバーの使いかた」P8を参照）尚、本体を一番おこした状態以外では使用しないでください。



- 本体の背面が車両シートバックにすき間なく接するようにしてください。
（リクライニング付シートの場合は車両シートバックに接するようリクライニング調節してください。）

- チャイルドシートの座面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。



2. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両シートベルトを**通し穴B**に通してください。
- ② もう一方の**通し穴B**にも通し、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

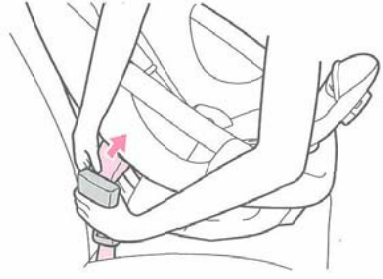


- △警告**
- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調節してください。
（「車両シートベルトのバックル位置が高い場合」P19を参照）

- △警告**
- ベルト通し穴には方向性があります。必ずチャイルドシートの向きに合ったベルト通し穴をご使用ください。
万一のとき、チャイルドシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

2点式シートベルトの場合

- ③ 車両シートベルトにゆるみがある場合は車両のバックルを一旦外し、少し短めに調節してください。
- ④ チャイルドシートを手やひざで上から押さえ付けながら、ふたたび車両シートベルトを車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



《完了チェック》



- △警告**
- 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため次のことを確認してください。
- チャイルドシートの切替レバーにより本体を一番おこした状態であること。
 - 本体を一番おこした状態以外では使用しないでください。
 - チャイルドシートの上部に前後左右に力をかけ、ゆずってみたとき安定していること。
 - お子供が座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。
（「お子供の座らせかた」P9を参照）
 - 車両シートベルトがねじれていないこと。
（但し、下記の場合は除きます。）

車両シートベルトのバックル位置が高い場合



- チャイルドシートをしっかり固定できない場合は次の要領で調節を行ってください。
- 後席へ取付ける場合
車両のバックルを回転させ位置を低くしてご使用ください。（但し、四回転以上回転させないでください。）

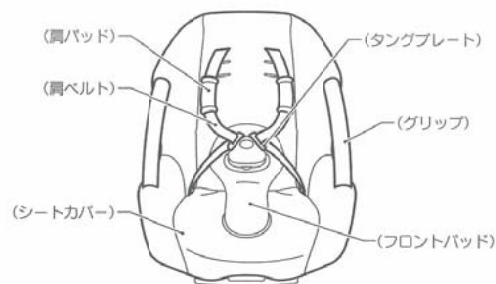


- △警告**
- 後席で車両バックルを三回転させても位置が高い場合は使用しないでください。
 - 上記の調節ができない場合、または調節しても安定しない場合には使用しないでください。
そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないおそれがあり危険です。
 - チャイルドシートの取付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。
万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないおそれがあり危険です。

1. 構成部品の取り外しかた

△警告

- フロントパッドの分解はしないでください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。
- グリップは、本体より分解しないでください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ① 肩ベルトを肩ベルト調節金具より外してください。
- ② 肩ベルトを肩ベルト通し穴から引き抜き、肩パッド(右・左)・タングプレート(右・左)を抜き取ります。
- ③ 肩ベルトを本体背面側から抜き取ります。



- ④ シートカバーのフックを外し、本体から取り外します。



2. お手入れ

1. シートカバー・肩パッドの洗いかた



- 肩パッド・シートカバーは水またはぬるま湯で押し洗いしてください。脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちするのでお使いにならないでください。
- アイロン掛けは、しないでください。

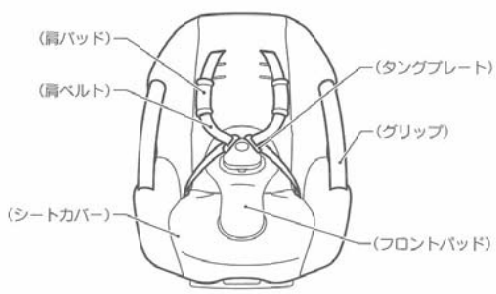
2. 本体、部品類のお手入れ

- 本体は水または、から拭きで拭き取ってください。
- 掃除機などで、ほごりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。

△警告

- ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。チャイルドシートの効果が十分発揮できなくなるおそれがあります。

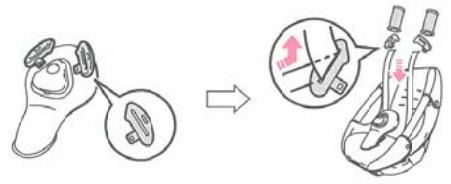
3. 構成部品の組付けかた



- ① シートカバーを元の位置にかぶせ、フックを引っ掛けます。 ② 本体背面下部より座面に肩ベルトを通し、座面から肩ベルトを上へ引き出します。引き出したベルトは左右同じ長さにしてください。



- ③ タングプレートを一度バックルに差し込み、上下左右を確認します。ふたたび、バックルを解除しタングプレート(右・左)・肩パッド(右・左)の順に肩ベルトに通します。肩ベルトをベルト通し穴に通し、肩ベルト調節金具へ通します。〔「肩ベルト調節金具への接続」P10を参照〕



《完了チェック》



警告
● 下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。チャイルドシートの効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため次のことを確認してください。
- 肩ベルトが肩ベルト調節金具により、しっかりと固定されていること。表からベルトを引っ張り、ベルトが抜けにくいこと。
 - 肩ベルトが左右同じ長さであること。
 - 肩ベルトのねじれがないこと。
 - 構成部品の取付け忘れがないこと。
 - 構成部品の取付け順序および左右の間違いがいいこと。



ご案内

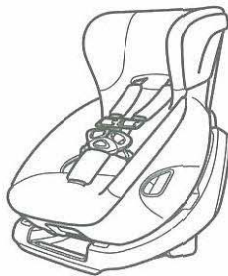
トヨタ純正《チャイルドシートシリーズ》では年令、体格に応じ次の商品を取りそろえております。

お子様のより安全、快適なカーライフにぜひご利用ください。

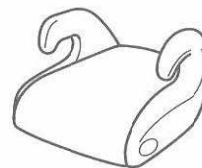
ベビーシート
(生後12ヶ月以下)



チャイルドシート
(6ヶ月～4才)

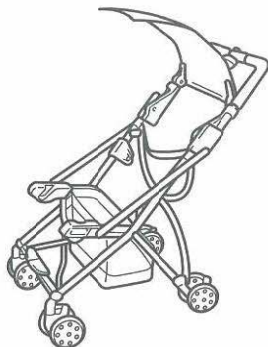


ジュニアシート
(4才～10才)



() 内は参考使用年令

ベビー＆チャイルドシートバギー



<使用例>



お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター
全国共通・フリーフォン

 **0070-800-778899**

フリーフォン
〒461-8711 名古屋市東区泉一丁目23の22

オープン時間／月曜～金曜（除く祝祭日）9：00～12：00 13：00～17：00